

# Campus News

〔キャンパスニュース〕

2024. 7  
Vol.64

【Pick up!】

- 静岡駅前キャンパス始動! キャンパス内を紹介します
- キャンパスライフにFOCUS! 「お理工塾応援隊」&「野球部」



## ■ 祝! 学生団体Sky Traveler「第46回鳥人間コンテスト2024」出場決定!

本学の学生団体「Sky Traveler (鳥人間を目指す飛行機同好会)」が、毎年夏に滋賀県の琵琶湖を会場に開催される、人力飛行機の滞空距離や飛行時間を競う「鳥人間コンテスト」に出場します(本誌6面に特集記事)。

はじまりを、つくる



静岡理科大学



## 特集① 静岡駅前キャンパス始動! キャンパス内を紹介します

静岡駅前キャンパスは静岡理科大学グループの新たなシンボルとして2024年4月に開校いたしました。今回はキャンパスの概要をご紹介します。



|            |     |                     |
|------------|-----|---------------------|
|            | 15階 |                     |
|            | 14階 |                     |
| 学校法人静岡理科大学 | 13階 | 学校法人静岡理科大学 本部       |
|            | 12階 |                     |
|            | 11階 | 静岡理科大学 情報学部サテライト研究室 |
|            | 10階 |                     |
|            | 9階  |                     |
|            | 8階  | 静岡デザイン 専門学校         |
|            | 7階  |                     |
|            | 6階  |                     |
|            | 5階  |                     |
|            | 4階  | ホール、図書スペース          |
|            | 3階  |                     |
|            | 2階  | 商業施設                |
|            | 1階  | エントランス・商業施設         |
|            | 地下階 | エントランス・駐輪場・商業施設     |

学校法人静岡理科大学が新たに拠点を構えるフロアは4～13階。そのうち5～10階には系列校の静岡デザイン専門学校が移転しました。

11階には、本学のサテライト研究室を開設。情報学部の4研究室が移転し、静岡駅前キャンパスを拠点に研究活動を行います。



4つの研究室が移転した11階のサテライト研究室は、開放的な雰囲気クリエイティブな活動を促進させます。

4階のホールは約200名が収容可能。こちらを会場とする講演会やセミナー等が計画されています。



## 遠州灘

突然ですが、クイズです。

父親とその息子(少年)が車で出掛け、事故に遭いました。父親と息子は、別々の病院に運ばれました。息子が運ばれた病院の外科医が少年を見たとき、「この少年は息子です」と言いました。外科医と息子はどんな関係(続柄)にあると思いますか? (答えは文末に示します)

自分の中にある無自覚の思い込みや偏見が、アンコンシャス・バイアスです。アンコンシャス・バイアスに気付かずにコミュニケーションを行うと、たとえ善意であっても、受け取る側が残念な思いになってしまう可能性があります。無自覚の思い込みはなくすることはできませんが、多様性時代の昨今では、互いに知っておくこと・気づくことが重要だと思います(W)。

(いへんのまき:投稿)

## 特集②

研究者に  
聞きました

## 先生、どうして研究者になったの?

このコーナーは、静岡理科大学で働く先生がどんな人なのか、研究者の道に進んだ理由、どんな研究をしているかなどを紹介していきます。

今回は情報学部 コンピュータシステム学科の高野敏明先生にお話を聞きました。

静岡駅前キャンパスに  
研究室が  
移転しました!



- 【氏名】 高野 敏明(たかの としあき)
- 【研究室名】 適応システム研究室  
(4月から静岡駅前キャンパスへ移転)
- 【所属職位】 情報学部 コンピュータシステム学科 准教授
- 【生年】 1985年生まれ
- 【出身地】 静岡県周知郡森町出身
- 【簡単な経歴】 2013年に三重大学大学院工学研究科システム工学専攻博士後期課程を修了後、立命館大学情報理工学部特任助教を経て、2016年に本学に着任。
- 【趣味】 漫画を読む、ひなたぼっこ
- 【座右の銘】 行雲流水
- 【愛読書】 花の慶次

### 出来事を羅針盤として

私の進路選択には、その当時目の前での出来事が大きく影響しています。大学進学の際、父の趣味の影響で腕時計を触っており、電池交換などをしていたことがきっかけになり、大学では電気電子工学科に進もうと決めました。また、大学院に行こうと意識したのは、大学3年の時でした。当時、大学院生だった兄が実家に帰省した際、発電などについてアイデアがないか私に尋ねてきたことをきっかけに、講義を聞いている最中にも太陽光発電の仕組みなどについて考えるようになりました。その時、「考える」ことに楽しさを感じ、大学院に進むことを意識しました。ちなみに、人工知能を研究することになったのは、第一希望の研究室の抽選から外れた結果のご愛嬌です。

その後、博士過程に進もうと思ったのは、修士1年生で研究会(学会)に初参加した時のことです。その研究会は、食事をしながらの研究交流の場が設けられており、その中で出会った先生達の闊達な姿に刺激を受け、研究者という職に惹かれました。

このように偶発的な出来事をきっかけに大学の教員になる道を進んできました。



▲大学の専攻を決めるきっかけは「腕時計」でした

### AIを身近に感じて欲しい

現在は、学生たちと自身の身近な問題を解決するような研究を進めています。例えば、同形異音語の読み分け(読み間違いを減らす)の研究や、AIとの対話におけるAIからの返答時間を制御する研究などといった、学生発のアイデアを形にするような研究活動をしています。こうした事例を地域みなさんに展開し、みなさんから「こんな使い方ができるのか!」と聞いていただけたら嬉しいです。

また、生成AIの登場により一層みなさんの身近に人工知能が存在するようになりました。今まで遠く存在だった人工知能は目の前に存在し、触れなければ脅威でしかありません。一方で、触れた人たちはその可能性を感じていることでしょう。私はみなさんと共にそのワクワクの一端を共有できたら嬉しいと思っています。



▲研究活動を通じて学生発のアイデアを「形」に

インタビューを  
終えて

実は、学生時代に「水中の格闘技」と呼ばれる水球部に所属していた高野先生。気さくな雰囲気から繰り出される創造的で豊かなアイデアがとても印象的でした。

## 特集③ キャンパスライフにFOCUS!「お理工塾応援隊」

お理工塾応援隊は、「実験を通して理科の楽しさを知ってもらう」を目的として活動している学生団体です。主な対象者は小学校高学年で、イベントを開いてサイエンスショーと実験を行っています。多少難しい内容であっても自ら考え理解できるように、クイズにして答えを子供たちに考えて貰ったり、実際に体験して貰ったり、工夫しながら隊員の大学生と理科の勉強をしています。



お理工塾応援隊 隊長  
理工学部 物質生命科学科 3年  
久米 昂貴 さん

お理工塾応援隊では、子供たちにどのように楽しみながら理科を学んでもらうのかを考えながら日々の活動に取り組んでいます。その為練習では、サイエンスショーでの言い回しは不適切でないか、発表で使用するスライドは十分に見易いか、発表内容の原理に不備はないか等を細かく確認しています。今後も目的を忘れること無く活動に努め、サイエンスショーと発表の内容を増やしながら、子供たちと共に学び、自分たちも成長出来ればと考えています。



今回のキャンパスニュースのどこかに僕が隠れているから見つけてね!

### Event Report 春休み体験研究室 ～理科の授業をさきどりしよう!!～を開催しました!

3月29日(金)、本学で新小学4～6年生対象に春休み体験研究室を開催しました。お理工塾応援隊のメンバーが講師となり、「水と空気がつもりについて知ろう」(新小学4年生)、「酸性、アルカリ性の違いを知ろう」(新小学5年生)、「指紋を採取しよう」(新小学6年生)のテーマでそれぞれ実験と発表を行いました。当日は58名が参加し、身近な科学に触れる機会となりました。



## 特集④ キャンパスライフにFOCUS!「野球部」



主将  
理工学部  
物質生命科学科 3年  
大石 健矢 さん

私たち硬式野球部は、試合で勝利する喜びに触れられるよう、静岡学生野球春秋リーグ戦において、1試合1試合を全力でプレーすることを目標に、朝6時35分から講義開始前まで朝練習をしています。

部員数は他大学と比較すると少ないですが、その分試合出場の機会は多く、様々な経験を積むことができます。また、チームワークも良く、各学年の壁を感じることなく和気藹々と日々の練習や試合に取り組むことができています。さらに、朝早くから活動することで生活リズムを整え、1日の時間を有効活用できるため、勉強や研究との両立も出来ています。

仲間と共に練習し、試合での勝利を目指し、野球を楽しみ、と思えるような部活動になることを目標としています。チーム一丸となって勝利に向かって活動していきますので、お時間のある方はぜひ一度、リーグ戦開催球場にお越しください。

| 投手    | 背番号 | 投/打 | 学年 | 出身校   |
|-------|-----|-----|----|-------|
| 小野 柊哉 | 1   | 右/右 | 2年 | 浜松江之島 |
| 山本 朔也 | 11  | 右/右 | 2年 | 藤枝北   |
| 山崎 颯哉 | 17  | 右/右 | 1年 | 飛龍    |
| 杉谷 亮太 | 42  | 右/右 | 2年 | 掛川工業  |
| 捕手    | 背番号 | 投/打 | 学年 | 出身校   |
| 橋口 風汰 | 25  | 右/右 | 2年 | 掛川工業  |
| 内野手   | 背番号 | 投/打 | 学年 | 出身校   |
| 佐野 優介 | 6   | 右/右 | 4年 | 富士宮北  |
| 有谷 尊  | 23  | 右/右 | 4年 | 浜北西   |
| 井口 瑞希 | 35  | 右/右 | 1年 | 浜北西   |
| 外野手   | 背番号 | 投/打 | 学年 | 出身校   |
| 小川 大心 | 2   | 右/右 | 4年 | 清林館   |
| 青山 桜璃 | 9   | 右/右 | 1年 | 飛龍    |
| 大石 健矢 | 10  | 右/左 | 3年 | 市立沼津  |
| 植田 拓歩 | 55  | 右/右 | 2年 | 掛川工業  |



開学以来初!  
プロ野球選手誕生!



▲2024年3月の卒業生 稲垣喜紀さんがプロ野球関西独立リーグ球団の「大阪ゼロロクブルズ」へ入団しました!!

## スポットライト がんばる理工科大生

小野 柊哉 さん  
(理工学部 土木工学科 2年)

静岡県は、山や川、海などの自然がたくさんあります。そのことは同時に自然災害の影響をとっても受けやすいということになります。台風や地震、土砂崩れ、津波など、様々な災害が発生する可能性があり、そのたびに多くの人が被害を受けています。私はこれらの災害から人々を守り、安全で安心して暮らせる社会を作る仕事に携わりたいと思っています。

このような自然災害に対して、地震対策の耐震補強や、津波対策の防潮堤の設置、土砂災害を防ぐための堤防や排水設備の整備など、土木技術を駆使して自然災害に備えることができます。また、これらのインフラ整備は、単に災害を防ぐだけでなく、地域の経済発展や住民の生活の質

向上にも役立ちます。

私はこれまでに、自然災害の影響で家族や友人が被害を受けたことが何度ありました。その経験から、土木技術を学び、災害に強い街づくりに貢献したいという思いが一層強まりました。私が目指すのは、単に災害を防ぐだけでなく、災害が発生した際にも迅速かつ効果的に復旧できるインフラを整備し、人々の命や財産、生活を守ることです。

大学での講義や現場見学などを通じて、これらの目標を実現するための知識や技術を身につけ、安心安全なまちづくりに貢献できればと思っています。



▲野球部に所属し、心身ともに充実した大学生活を送っています。

## 祝! 学生団体Sky Traveler 「第46回鳥人間コンテスト2024」出場!

本学学生団体Sky Travelerが「第46回鳥人間コンテスト2024」に出場します。  
コンテスト本番を前に、大会への意気込みや日頃の活動についてお話を伺いました。



理工学部 機械工学科 3年  
鈴木 聡汰朗 さん

### 得意を活かし、解決の糸口を

思惑通りにいかない時はメンバーの“得意”を活かして、課題に向き合います。

力学的な計算は機械工学の知識、プログラミングとその実装は電気電子工学や情報学の技術、機体の素材に関しては物質生命学科と、本学で学び、その専門性を深めるメンバーがアイデアを出し合います。お互いの足りない部分をカバーし、一つの機体を完成させるのは、とても楽しいです。

2022年出場時の記録は25.57m、2023年は書類審査をパスできず涙をのみました。

今年2024年はコンテスト出場を掴み取ることができたので、コンテストでは記録を目指しながらも飛行機づくりを楽しみ、みなさんに雄姿をお届けします。

ご声援よろしくお願いします。

私たちSky Traveler(鳥人間を目指す飛行機同好会)は、毎年夏に滋賀県の琵琶湖を会場に開催される、人力飛行機の滞空距離や飛行時間を競う「鳥人間コンテスト」の出場を目指しています。

飛行機製作は約10ヶ月にわたる長丁場で、機体を「飛ばす」よりも「作る」ことに醍醐味が凝縮されています。機体が飛ぶシミュレーションにより、機体の設計・製作を行いますが、思惑通りにいかないことがほとんどです。



## 役職者紹介

2024年6月1日現在

### 【大学評議員】

|               |           |
|---------------|-----------|
| 学長            | 木村 雅和     |
| 副学長           | 小澤 哲夫(教授) |
| 理工学部長         | 丸田 誠(教授)  |
| 情報学部長         | 富田 寿人(教授) |
| 機械工学科長        | 後藤 昭弘(教授) |
| 電気電子工学科長      | 石田 隆弘(教授) |
| 物質生命学科長       | 山崎 誠志(教授) |
| 建築学科長         | 太田 達見(教授) |
| 土木工学科長        | 松本 健作(教授) |
| コンピュータシステム学科長 | 幸谷 智紀(教授) |
| 情報デザイン学科長     | 林 章浩(教授)  |
| 学生部長・学生支援統括   | 國持 良行(教授) |
| 研究・産学官連携統括    | 齋藤 明広(教授) |

|             |           |
|-------------|-----------|
| 入試広報・大学広報統括 | 野崎 孝志(教授) |
| 大学担当理事      | 梅村 博之     |
| 事務局長        | 深澤 直人     |

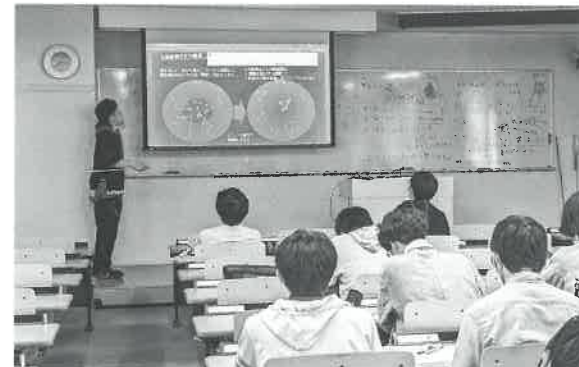
|                |            |
|----------------|------------|
| YES*長 兼        |            |
| やらまいか創造工学センター長 | 美馬 一博(教授)  |
| 工作センター長        | 飛田 和輝(教授)  |
| 先端機器分析センター長    | 宮地 竜郎(教授)  |
| 情報教育研究センター長    | 幸谷 智紀(教授)  |
| 教育開発センター長      | 足立 智子(教授)  |
| 国際交流センター長      | 谷口 ジョイ(教授) |
| 防災教育センター長      | 中澤 博志(教授)  |
| 図書館長           | 大根 弘順(教授)  |

※YES: やらまいかエディケーションサイト

## 授業の紹介

### ■情報数学2

2年前期 III類科目(教職「数学」必修)



1年後期「情報数学基礎」から続き、後の「代数学」や「符号暗号理論」への接続を意識して、離散数学(グラフ理論等)や抽象数学のさわりを題材に、数学を道具とした論理的思考のセンスを養います。与えられた材料から「何故こういう結果になるのか?」という論証は、理工学研究においても不可欠です。特に論理的なコンピュータの仕組みは、数学の構造と共通する点があり、コンピュータサイエンスを修める上で数学は切り離せません。

情報数学2は同“1”と択一の上級科目であり、教職志望者や、更に数学の習熟度を高めたい学生が集まります。毎週の課題は対面で答案を添削し、導出や記法を含めて細かく指導します。「解らなくなったら聞きに来る」を徹底しており、居室は時々学習塾のように混み合い、指導も大変です。その一方で、課題提出率100%、遅刻欠席ほぼ0と全体的に意欲が高く、本学のアドバンス科目に比肩する熱量の高い授業を展開しています。



## 建築環境(温熱)研究室(建築学科)

おじゃまします。



建築学科の中でも建築環境分野の本研究室では、学校施設のZEB化、都市環境の脱炭素に向けた取組や災害廃棄物のCO<sub>2</sub>排出量削減等を主なテーマに研究しています。

静岡県唯一の建築学科として、恵まれた自然環境を生かして自発的な環境行動を促すしくみや、多発する自然災害の大きな課題である災害廃棄物など、地域特性を活かした様々な研究を静岡県下のフィールドで行っています。

カーボンニュートラルへと向かう現在、建築技術者にも建築環境の知識は必須です。

都市環境の脱炭素化や学生が実践的なプロジェクトを通じて身近な社会の課題解決に取り組む機会を提供し、県下の自治体、地元自治会や企業と連携して、実社会での経験を積むことができるようにしています。

## 研究室学生からひとこと

萩田 拓夢 さん

(理工学部 建築学科 4年)

研究室では小学校の学習環境や都市エネ、都市環境について学んでいます。フィールドワークやイベントが多く、研究室メンバー全員で活動する事が多いです。3年秋に研究室へ配属されるとすぐに、天竜に木を伐倒しに行ったり、静岡市中心市街地でのアンケート調査活動を行ったりします。冬には地元浜松の建築士の方々に研究活動について発表する社会人発表会があります。これらのイベントでは、多くの学外の方々とコミュニケーションを取れるなど貴重な経験を積むことができます。興味がある方は、ぜひ研究室に見学に来てください。

## 研究室担当教員

石川 春乃 先生

■プロフィール

静岡県静岡市出身。早稲田大学理工学部建築学科卒。長野県庁、建築士事務所代表等を経て、2018年本学建築学科に着任。静岡県県有施設ZEB化設計指針や静岡市住生活基本計画、浜松市地球温暖化対策実行計画など、静岡県下の建築環境政策に多数参加。特に、県下で進む小中学校再編検討に多く携わっている。

研究室訪問

第52回

## 高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト2023最終審査会

2月17日(土)、高校生の考える「こんなモノがあったらいいのに」や「こんなコトをやってみよう」というアイデアを競う、「高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト2023最終審査会」を浜松市のFUSEで開催しました。

今回で11回目の開催となった本コンテストには、静岡県内外の62校の高校から590件の応募がありました。

最終審査会に出場した5グループによるプレゼンテーションの結果、浜松工業高等学校の内山瑛斗さんが考案した、「特定区間における混雑度可視化システム「CdVS」」が最優秀賞に輝きました。



## 令和5年度 第2回公開講座

3月2日(土)、「フィールドワークに宿る美学」をテーマに、本学で公開講座を開催しました。

第一部では「ボルネオ島ってどんなところ？ 多民族国家マレーシアでの研究生活」のテーマで物質生命科学科の鎌田昂准教授が、第二部では「テングザルを追ってジャングルへ」のテーマで京都大学 野生動物研究センターの松田一希教授(袋井市出身)が講演を行いました。

当日は93名が参加し、「先生方の貴重な研究や経験を公開講座としてお話しただくのは大変ありがたい」などの感想をいただきました。



## プログラミング教室「ロボットカーを動かそう!」

3月2日(土)、学校法人静岡理工科大学藤枝イノベーションcommons (Bivi藤枝1F)で小中学生向けの講座「プログラミング教室 ロボットカーを動かそう!」を開催しました。

この講座の講師は静岡理工科大学の学生団体STEP※が務め、ロボットカーの制作を通じてプログラミングを基礎から学びました。実習では、センサーを使ってロボットカーがぶつからないようプログラムしたり、ライン上を追従して走らせたりしながらプログラミングに挑戦しました。

※学生団体「STEP」は、地域の小中学生を対象としたプログラミング講座を開催し、情報教育の楽しさやIT技術者の裾野拡大に取り組む、静岡理工科大学の学生団体です。



## 記念図書贈呈

3月12日(火)、袋井市立図書館へ卒業生からの募金による記念図書の寄贈を行いました。

大学4年間でお世話になった袋井市へのお礼として、第1期卒業生から第25期卒業生までの25年間は愛野公園へ記念植樹を、翌年の第26期生からは図書の寄贈を行っており、今回が5回目の図書寄贈となります。

卒業生からは科学やものづくりに関するなど55冊が図書館に寄贈され、「たくさんのお子たちが科学に興味を持ってもらえれば」と話しました。



## ふくろい産業イノベーションセンター 研究成果報告会

3月12日(火)、「ふくろい産業イノベーションセンター地域研究助成金」を活用し、令和5年度に取り組んだ研究(13件)の概要や成果について発表・展示を行う「研究成果報告会」を開催しました。本報告会は、大学と地域企業、産業支援機関、金融機関等の更なる連携の強化や新たな取組を促進するために企画・開催したものです。

当日は、市内外企業をはじめ、大学関係者、産業支援機関、金融機関、行政等から約50名が参加。研究に取り組んだ大学の全教員(13人)がプレゼンテーション及びポスターセッションで発表や説明を行いました。参加者からは、「理工科大学の多様な研究事例に触れる事ができました」などのコメントがありました。



## 卒業式

3月16日(土)、令和5年度卒業証書・学位記授与式を挙行了しました。

4年間の学修を終えた理工学部・情報学部の卒業生342名と大学院修士課程の修了生49名に学位記を授与しました。この春の卒業生は、コロナ禍で入学式が開催できなかった世代でしたが、卒業式は晴れて完全対面での開催が実現できました。

木村学長からは「ポストコロナ時代に向けた社会の変革に対して、常に大きな関心を持ち、行動してください」とエールが送られました。



## 入学式

4月2日(火)、令和6年度入学式を挙行し、学部生443名、大学院生44名、3年次編入生4名が入学しました。式典は保護者出席のもと、全学部・大学院の入学生が一堂に会して開催しました。

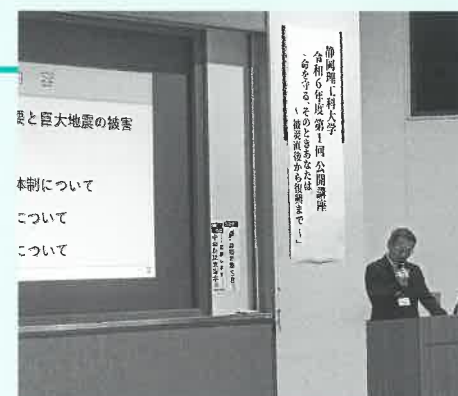
宣誓した建築学科の大石育実さんは「さまざまなことに自発的に、真摯な姿勢で取り組み、学生生活が実りあるものになるよう努力し続けます」と誓いの言葉を述べました。



## 令和6年度 第1回公開講座

6月9日(日)、「命を守る、そのときあなたは」をテーマに令和6年度第1回公開講座を本学講義室で開催しました。今回の公開講座は3部構成で開催し、第一部では「能登半島地震の教訓と地域の課題」のテーマで土木工学科 中澤博志教授が、第二部では「情報とどう向き合う 防災と情報〜フェイクニュースに振り回されないために〜」のテーマでコンピュータシステム学科 芦澤恵太教授が、第三部では「袋井市の防災対策の取り組み〜災害に強い袋井を目指して〜」のテーマで袋井市役所 渡邊浩司危機管理部長が講演を行いました。

当日は141名が参加し、「今まで知らなかった知識や役立つ情報を他へ展開していきたい」と感想をいただきました。



# 入試広報NEWS

## ■静岡理科大学 公式Instagramが開設しました♪

Instagramではキャンパスライフ、研究の舞台裏、そして素敵な学びの瞬間を共有していきます。高校生だけでなく、在学生や地域の方々にも楽しんでもらえるコンテンツを目指していきます。是非フォローしていただき、最新のイベント情報やキャンパスの様子をチェックしてみてください。



## ■進路イベントの日程【8月～11月】

- オープンキャンパス 8月18日(日)、9月8日(日) (事前予約制)
  - 大学見学会 10月6日(日)、11月3日(日) (事前予約制)
- 学科説明、研究室見学、入試説明会、保護者説明会、個別相談など

※イベントの内容は変更となる可能性があります。

(詳細なスケジュールは確定後、受験生サイトに掲載します)

本学受験生サイトはこちら  
<https://www.sist.ac.jp/navi/>



## 人事異動

令和6年4月1日付採用

令和6年5月1日付採用



建築学科 教授  
渡辺 英義

専門分野 建築構造、鉄筋コンクリート構造  
略歴 東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修了後、大成建設株式会社に入社。同社技術センター構造研究室主幹研究員等を経て、本学教授に就任。  
趣味 読書、ドライブ



コンピュータシステム学科 講師  
范 自然  
(ハン ジェン)

専門分野 インタラクティブデザイン、感性情報処理  
略歴 東洋大学大学院総合情報学研究科総合情報学専攻修士課程修了後、東洋大学総合情報学部総合情報学科メディア文化コース助教を経て、本学講師に就任。  
趣味 村上春樹、筋トレ、ツチノコ探し



電気電子工学科 准教授  
Mars Kamel  
(マース カメル)

専門分野 先端半導体デバイス開発、高性能CMOSイメージセンサ、LSI設計  
略歴 チュニス科学技術大学院修了後、来日し、静岡大学創造科学技術大学院自然科学系教育部ナビジョン工学専攻修士課程修了。静岡大学電子工学研究所特任准教授を経て、本学准教授に就任。  
趣味 車、ジムトレーニング、旅行、料理

お疲れ様でした

(令和6年3月31日付退職)

●電気電子工学科 准教授  
東城 友都

●建築学科 教授  
佐藤 健司

同窓会  
だより

## ■新 同窓会評議員紹介

同窓会会員数  
9,757名



同窓会評議員  
脇坂 泰清 さん  
(コンピュータシステム学科 卒業生)

この度、第30期卒業生の代表として同窓会評議員に任命されました、脇坂泰清です。今後は、同窓会評議員として、同窓会活動に真摯に向き合っていきたいと思っております。

さて、現在の同窓会では、「ホームカミングデー」や「LINE@」等を活用し、同窓生間のネットワーク構築を、宮川会長を中心に行っております。「ホームカミングデー」では、同窓生が久しぶりに大学に帰り、友人と語り合う憩いの場となっています。今後、同窓会活動の情報だけでなく、変化していく静岡理工科大学の情報を、各種SNSを通じて発信することで、同窓生間の繋がりを作ることができればと考えています。

微力ではございますが、同窓会活動に参加することで、より一層同窓会を盛り上げることができればと思っています。今後とも同窓会活動へのご理解ご協力ご支援ご厚情を賜りますよう、宜しくお願い致します。

## ■「第22回ホームカミングデー」の開催について

現在、同窓会では、「第22回ホームカミングデー」の開催に向けて準備を行っております。各イベントの詳細等については、同窓会公式HP及び各種SNSを通じてご連絡致します。



後援会  
だより

## ■保護者懇談会の開催について

本学の保護者懇談会では、午前に全体会及び学科別懇談会、午後に個別面談(希望者のみ)を開催しています。全体会では、本学の近況や外部講師をお招きして講演会を行っており、学科別懇談会では各学科の特徴や近況などについて説明させていただいております。また、午後に行われる個別面談では、ご希望の方のみとなりますが、助言教員より学業成績や学生生活の様子などについてお話をさせていただきます。

昨年度の保護者懇談会は4年ぶりに全体会、学科別懇談会、個別面談を全て対面に開催致しました。全体会では、株式会社就職情報センター代表取締役秋山和則様より、「就職を取り巻く環境変化と支援の在り方」をテーマにご講演いただきました。

2024年度の保護者懇談会については、前年度同様の開催方法を予定しております。詳細については9月に送付する学納金納付書に案内文を同封させていただくか、Webポータルでお知らせをいたします。



## 活躍する卒業生



酒ハックプロジェクト 代表 種石 健一 さん  
(機械工学科 17期卒業生)

### ■大学時代から起業まで

大学時代は機械工学科の電熱工学研究室に所属していました。主に精密機械部品の熱による精度変化と、それを冷却によりキャンセルする方法の研究を行っていました。修士課程を修了後、機械メーカーで精密機械部品の品質保証を7年、その後転職した会社で半導体製造の生産技術を3年経験した後、独立してお酒熟成キットを販売する酒ハックプロジェクト社を設立しました。自分でプロダクトを作って勝負したい、そんな気持ちでの挑戦でした。

### ■今後のビジョン

起業するにあたり、自分で設備を導入したりしながら製品を作っていくのはそれほど難しい事ではありませんでした。それ以上に、マーケティングや営業など、人の心を理解して成果に繋げていく部分や、どれだけ市場に歓迎される場所に製品を投入できるかなどの商売としての素養が大事だと痛感しています。

自分の感性を大事にしながらも、市場に寄り添い、ニーズから逆算したプロダクトを効果的に投入し、試行を重ねて正解パターンを探っていく形で事業を進めていければと思います。

# 令和6年度 優秀賞表彰

受賞者の皆さん、  
おめでとうございます!

1年間の学業が優秀であり、人物面においても本学学生として模範である学生に贈られる「静岡理工科大学 優秀賞」の受賞者40名が決定しました。

## 機械工学科

2年生 小野 心輝  
2年生 森下 連斗  
3年生 飯沼 飛斗  
3年生 岡田 悠汰  
4年生 高柳 翔  
4年生 仲野 倫矢

## 電気電子工学科

2年生 大杉 脩悟  
2年生 太田 輝  
3年生 小出 陽生  
3年生 宮路 由翼  
4年生 密岡 千洲  
院1年 向山 純平

## 物質生命科学科

2年生 旭 聖香  
2年生 新井 カリソリサ  
3年生 川田 明香里

3年生 塩入 舞倅

4年生 五十嵐 拓人

4年生 宮下 貴翔

## 建築学科

2年生 石神 嘉惟吏

2年生 松下 清香

3年生 長谷川 寛樹

3年生 望月 李穂菜

4年生 青木 ペドロ

4年生 白瀧 昌寛

## 土木工学科

2年生 神谷 友翔

2年生 佐藤 大知

3年生 大竹 心優

3年生 梶山 萌美

## コンピュータシステム学科

2年生 鈴木 祐亮

2年生 内藤 紘哉

2年生 古橋 壮太

2年生 森田 幸磨

3年生 浅原 優一

3年生 森下 敦也

4年生 三島 啓聖

4年生 宮地 智羽

## 情報デザイン学科

3年生 内山 響生

3年生 小宮 辰彦

4年生 関野 宏樹

4年生 細田 葵



## イベント情報

# 9月22日はやらまいか日和!

小学生向けと大人向けのイベントを同時日程で開催予定です。

お理工塾主催  
夏のわくわく体験工房  
(小学生対象)

ラピッドプロトタイピングで  
DIYを楽しもう(高校生以上対象)

いずれも開催は午前、会場は大学(袋井市)で開催計画中。

詳細は確定次第、HP等でご案内します!

※定員に限りがあるイベントなので、申込多数の場合は抽選となります。

## 編集後記

子供の頃に毎年楽しみにしていたテレビ番組の一つに「鳥人間コンテスト」がありました。琵琶湖上を、技術的に、部門的には笑いの、工夫を凝らした各種の人力飛行機が飛距離を競い合うその様子は、人間の技術と体力とが融合してデザインとなり、それが結果を生み出すものとして、現在の自身の職能に大きく影響しているように思います。そんな「鳥人間コンテスト」に自身の所属する大学が出場する。不思議な思いと共に、確かに印象付けられた一つ一つの経験に我々は生かされているのだと感じます。

今回は上記コンテスト以外に、静岡駅前キャンパス始動など、節目となるNewsに溢れています。当事者である人は未来にこの瞬間をきっと振り返る時があるのでしょうか、他の人々はNewsによって少し当事者意識を持てることで、人生が少し豊かになると言えるでしょう。お楽しみください(T)。

## 静岡理工科大学キャンパスニュース

令和6年7月31日発行

企画・編集・発行 / 静岡理工科大学 大学広報委員会

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110

<https://www.sist.ac.jp> E-mail:shakai@sist.ac.jp

